

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2012年7月5日

「平成24年4～6月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－横ばい推移－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成24年4～6月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成24年6月1～8日

回収状況 回収数 618 社（回収率 97.1%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

①平成24年4～6月の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－20.2となった。平成24年3月の前回調査（－19.2）とほぼ横ばい。

②平成24年7～9月期の見通しについて

7～9月期の業況DIは5.8ポイント悪化して－26.0となる。二輪、自動車、機械、楽器、繊維、小売、建設、不動産、飲食・宿泊・レジャーが悪化を見込む。うち、10.0ポイント以上の悪化を見込むのは機械、楽器、繊維、不動産、飲食・宿泊・レジャー。

③主な業種別の動向

業種	業況DI (前期→当期→来期見込み)	動向
二輪部品製造 (56社)	－21.4→ －17.9 →－25.5	業況DIは4四半期連続の改善。売上額DIも4四半期連続のプラス水準維持。人手過剰が解消。
自動車部品製造 (69社)	－10.1→ －8.7 →－13.0	業況DIわずかながら改善。売上額DIは4四半期連続のプラス水準維持。
機械部品製造 (66社)	4.5→ 10.6 →－4.6	業況DI前回到続いてのプラス水準。売上額、受注残、収益DIいずれもプラス水準へ。
楽器部品製造 (18社)	－36.8→ －33.3 →－44.4	業況DI改善、設備DIはマイナスへ（設備不足）。マイナスとなるのは平成20年9月調査以来。
繊維製造 (25社)	－20.0→ －12.0 →－24.0	業況DIは4四半期連続の改善。
卸売業 (89社)	－21.3→ －27.0 →－27.0	業況DI悪化、販売価格DIは4四半期連続のマイナス水準（販売価格下落）。
小売業 (69社)	－36.2→ －34.8 →－39.1	業況DIは4四半期連続の改善。
建設業 (72社)	－10.0→ －32.4 →－35.7	業況悪化、売上額DI再びマイナスへ転じる。人手DIは3期連続の不足から過剰気味へ。
不動産業 (38社)	－15.8→ －28.9 →－39.5	業況DIは2四半期連続の悪化。
飲食・宿泊・レジャー等 (15社)	－53.3→ －26.7 →－66.7	業況DIは改善、売上額DIはプラスへと転じる。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 神谷・間淵 TEL 053-452-1510